

社会情勢等について

1 物価の動向について

総務省が9月に公表した消費者物価指数（2020年基準）によると9月分の総合指数としては前年同月比2.9%の上昇となりました。

表1及び表2の日本銀行が9月に行った「生活意識に関するアンケート調査」では、対象者の約95%が前年と比較して物価が上がったと実感（表1）しており、表2の前年と比較した暮らし向きでは、ゆとりがなくなってきたと回答した方が約56%となっています。

【表1】 物価に対する実感についての調査結果

	物価に対する実感（現在、前年対比）			
	第100回 (2024年12月)	第101回 (2025年3月)	第102回 (2025年6月)	第103回 (2025年9月)
かなり上がった	69.2	73.7	75.3	69.4
少し上がった	25.9	22.4	20.8	25.4
ほとんど変わらない	3.4	2.2	1.7	3.0
少し下がった	0.2	0.3	0.5	0.6
かなり下がった	0.7	0.7	1.0	0.5

（日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」（第103回）の結果より抜粋）

【表2】 暮らし向きについての調査結果

暮らし向き（現在、前年対比）

(%・%ポイント)

	第100回 (2024年12月)	第101回 (2025年3月)	第102回 (2025年6月)	第103回 (2025年9月)
ゆとりが出てきた	4.7	3.9	3.8	4.5
どちらとも言えない	37.6	39.4	34.3	38.6
ゆとりがなくなってきた	57.1	55.9	61.0	56.1
D.I. (「ゆとりが出てきた」 - 「ゆとりがなくなってきた」)	-52.4	-52.0	-57.2	-51.6

(日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」(第103回)の結果より抜粋)

2 物価の動向を踏まえた府中市の対応について

府中市においては、令和7年9月に物価高騰対策として、9事業、事業費約6億7千万円を補正予算として計上し、市議会で可決されるなど、市民の生活のための対策を行うことを決めています。

具体的なものとしては、物価高騰に直面する子育て世帯を支援するため、18歳までの子ども1人当たり1万円のデジタルギフトを給付する事業を実施するとともに、保育施設や介護サービス事業所等に対する食材費や光熱水費の補助を行うなどがあげられます。

これらのことから分かるように、市としても市民生活への影響を考慮し、様々な対応を行っているところです。